

発行/ 芦屋市役所(広報国際交流課)

☎0797-31-2121 / 0797-38-2152

〒659-8501 兵庫県芦屋市精道町7番6号

芦屋市ホームページ <http://www.city.ashiya.lg.jp/>

✉ メールアドレス [info@city.ashiya.lg.jp](mailto:info@city.ashiya.lg.jp)

## 東京オリンピックの先に見るもの



### 和田まどか 選手

1995年、横浜市生まれ。芦屋大学4年生。高校2年に極真空手からボクシングに転向し、全日本選手権ライトフライ級で3位、3年で2位、芦屋大学入学後連覇、昨年はフライ級で優勝。2014年の世界選手権では3位という成績を残している。

### 先に見るもの

今年で創立4年目を迎えた「芦屋学園ボクシングクラブ」に所属している和田まどかさん。女子ボクシングでのオリンピック出場を目指すため、横浜の高校を卒業後、親元を離れ一人芦屋へやってきました。「毎朝起きてから、芦屋学園を出発して県道奥山精道線を下り、JR芦屋駅付近を経由して戻ってくる約10キロのコースを1時間程度走り、授業の後、夜までボクシングをしています。」

### ■世界を相手に

2014年の世界選手権で3位になり、リオデジャネイロオリンピックで日本人初の女子ボクシング代表として期待されましたが、今年の世界選手権で惜しくも敗れ出場を逃しました。しかし、世界選手権を2度経験し、世界のトップ選手

### ■家族を思う

世界の強豪と渡り合っている和田選手ですが、ボクシングを離れると、とても家族思いな普通の女の子です。試合と練習で忙しく横浜の実家へ帰るのはお盆と正月の休みだけです。家族について聞くと、「両親とはよく電話で話をします。母にかけてもすぐ父に代わられてしまい、1時間ほど父の近況の聞き役に

### ■次の目標に向けて

東京オリンピックに出場するためには、どの審判が見ても勝ちと判定されるようなボクシングをしないとけない。アグレッシブに、どんどんパンチを打ってポイントをつけていきたい。」最後に、今後の目標について尋ねると、「まずは東京オリンピックに出場し、良い結果を出すこと。そして、引退後はコーチとして強い選手を育て、女子ボクシングをもっと盛り上げていきたい。」と真剣な眼差しで語ってくれました。

## 女子カヌーの先駆者であり 県立芦屋高校の指導者

創立76年の歴史を持つ県立芦屋高校には、マリンスポーツに適した穏やかな海に近いという立地を活かしたカヌー部があります。このカヌー部の監督として文武両道をモットーに指導に当たっているオリンピック出場経験者の遠藤小百合先生にお話を伺いました。

### ■きっかけ

アトラクタオリンピックとシドニーオリンピックの出場経験を持つ遠藤先生がカヌー競技を始めたきっかけは「父がカヌー競技の指導者だったため、小さいころから競技は知っていました。本格的に始めたのは高校生になった16歳から。当時武庫川女子大学と神戸大学カヌー部のコーチだった父に誘われて大学の部活動へ参加したことがきっかけです。どちらのカヌー部も、全日本チャンピオンなどを輩出する名門校なので、練習環境は恵まれていたと思います。始めた時はバランスが取れないとすぐに転覆してしまうカヌーを乗りこなすことに魅了されました。」

### ■もう一つの夢

小さいころから学校の先生になるのが夢だった遠藤先生は、高校卒業後に筑波大学の体育専門学群に進学し、教師になるための勉強にも励まれる一方で、日本代表のカヌー選手としてアトラクタオリンピックへの出場を果たしました。

### ■指導者として

生徒たちへの思いを尋ねると、「生徒たちは、やはり可愛いですが、わが子よりも生徒とカヌーの練習で一緒に居る時間のほうが長いので、カヌーを通じて生徒たちが、人として成長し変わっていく姿を見るのは楽しいです。決してカヌーだけではなく、常に文武両道であっ

### ■オリンピック

オリンピックの印象は「はじめはアトラクタオリンピックに出場したら現役を引退しようかと考えていましたが、実際

て欲しいと考え指導していません。カヌー競技は陸上競技で例えると800m走に匹敵する心肺能力の高さが求められます。カヌー部の生徒たちは、辛い筋力トレーニングに励み、炎天下の夏の日も震えるような冬の日もカヌーに乗り、本当によくやっていると思います。」

最後に生徒に一番伝えたいことを聞くと、「常にチャレンジ精神を持って欲しいです。何かをやるかやらないか迷った時に、やってみようと思う考えが重要だと思っています。常に自分でやってみるという選択をして欲しいです。」と笑顔で語るその姿に生徒への思いが込められていました。

### 遠藤小百合 先生

1975年生まれ。筑波大学卒業。県立高校(神戸甲北高、芦屋高)で教壇に立ち、現在は県立芦屋高校で生徒課長を務める一方、カヌー部の監督として生徒たちを指導している。家庭では2人の子どもを育てている。

